

平成25年度 いしかわ道徳教育推進事業 道徳教育推進校

人と地域を生かした道徳教育講座

研究主題

「生きる力」を磨くためには
～自ら考え豊かに表現する道徳教育を通し、
よりよい生き方を考える生徒の育成～



白山市立北星中学校

I. 主題設定の理由

本校生徒は、全体的には明るく素直な生徒が多く、落ち着いた学校生活を日々送っている。しかし学校行事や部活動などには積極的であるが、コミュニケーション能力など自己表現をする力は十分ではない。特に道德の授業では 自分の考えを发表或し、話し合ったりすることに苦手意識を持つ生徒が多く見られる。そこで、本年度道德教育を通し、生徒が表現する場の工夫について研究を進め、自ら考え豊かに表現し、よりよい生き方を考える生徒の育成を目指し、本研究主題を設定した。

II. 研究の重点

1. 校内研究の推進

- ① 講師を招聘しての研究会
- ② 道德の授業公開と研究会
- ③ 各学年を中心とした研究会
- ④ 道德アンケートの実施

2. 言葉を生かし、表現力を育成する道德授業の工夫

- ① 表現しやすくする工夫
 - 少人数での話し合い活動を取り入れた学習形態の工夫
 - ホワイトボードや付箋、心情円盤を利用した考えの表明
 - 教師と生徒そして生徒同士の温かな人間関係づくり
- ② 書く時間を確保した授業構成
 - 中心発問、補助発問の吟味
 - 自己の考えや思いを言語化することで、思考を整理し、深める場を十分に設定
- ③ 一人一人の言葉を大切にされた道德通信の発行
 - 学級を超えての意見の交流
 - 授業後も継続的な価値の認識
 - 保護者に授業の様子を定期的に発信、家庭での道德について話し合う機会の啓発



校内研究会の様子



3. 校内の言語環境の充実

- ① 道德に関する掲示の充実
- ② 表現したことを日常的に目に触れることで互いに認め合う雰囲気作り
- ③ 心にとまる温かい詩の掲示



III. 具体的な取組

1. 校内研究の推進

- ① 講師を招聘しての研究会

4月、畿央大学より
島恒生教授をお招きして
「道德授業の在り方」



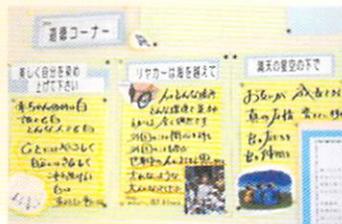
実際に資料分析をしながら生徒同士のやりとりを大切にされた授業展開や発問の仕方など多くのことを学ばせていただきました。

- ② 道德の授業公開と研究会

4月 授業参観で道德授業の実施 ～事前に書いてもらった保護者の方からの手紙をもとに～
5月 道德教育推進教師による授業公開
6月 いしかわ版道德教材「ふるさとがはぐくむ 道德いしかわ」を活用した授業公開
～地域、保護者の方、市内外の先生方も授業参観や授業後の研究会に参加して～

3. 校内の言語環境の充実

道徳に関する掲示



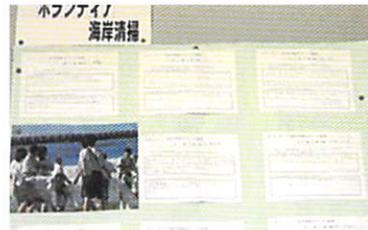
学級や学年掲示版の「道徳コーナー」

図書館司書による毎月の詩の掲示「言葉の都」

行事を終えての作文の掲示



「運動会を終えて」



「ボランティア海岸清掃に参加して」

IV. 成果と課題

成果

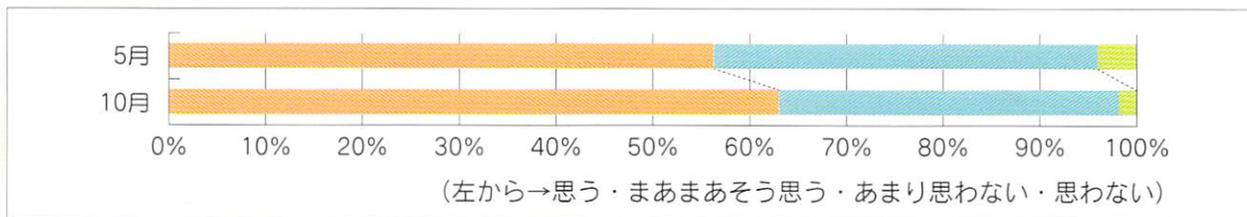
1. 生徒の道徳意識の高まり

生徒の実態を知るために道徳の授業について全生徒にアンケートを実施した。まだ半年の歩みであるが生徒の変容が見られ、積み重ねてきた道徳授業の成果が少しずつあらわれてきている。

《道徳の授業は大切だと思いますか》

よくあてはまる	5月 32.9%	10月 41.6%	➡ 8.7ポイント 向上
---------	----------	-----------	--------------

《人が困っているときは、助けようと思う》



2. 教師の授業改善にむけた意識の高まり

校内研究を重ねる中で、資料分析や生徒の立場に立った授業展開の工夫等教師にとっても授業改善にむけた意識が高まり、指導力の向上につながったと思われる。

課題

- 自ら表現し、伝えようとする道徳授業に向けての校内研究の推進
- 生徒一人一人の豊かな心を育む家庭・地域と連携した活動の充実
- 心を豊かにする環境づくりの更なる工夫

